

# 北陸におけるSDGs達成に向けた ESDプログラム開発

活動地域 石川県

つづける助成  
**3年目**  
実践

SDGs達成に向けた 授業の実践校	<b>150校</b>
北陸SDGs・ESD 連絡協議会開催	<b>3回</b>
今年度計画の達成度	<b>100%</b>
目標達成度	<b>80%</b>



富山市立楡原中学生・岩瀬浜で海洋ゴミ調査

## 苦労した点と工夫した点

### ■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍や学校現場の多忙化で連絡調整が難しく、対面の研修会もできず計画通りに活動ができなかった。

### ■ 工夫した点

オンラインでの会議・研修会・セミナーに変更した。そのため、質の高い個別の支援が増えた。また、Zoomではアウトブレイクルームを活用した。

## 課題

学校や地域社会ではSDGsとESDの関係に対する理解に混乱があり、具体的にどのようにSDGsを達成するためのESD教育を行うのかの具体的な方策を提示し、普及する。

## 目標

北陸においてSDGsが達成され、持続可能な地域社会が実現している。SDGs達成に向けて授業を実践している学校が増え、推進のためのプラットフォームが機能している。

## 活動内容と成果

- 北陸ESD推進コンソーシアムと綿密な連携の下、『北陸版SDGs・ESD実践ガイドブック』及び改訂版を作成し、北陸3県のユネスコスクールや地域ユネスコ協会等のステークホルダーに配布し、SDGs達成のためのESD教育の促進、普及の研修会・セミナーを実施した
- 北陸3県のSDGs・ESD推進するステークホルダーを委員とした「北陸SDGs・ESD推進協議会」を設立し、情報・経験を共有し、SDGs達成のためのプラットフォームとした



勝山市立勝山南部中学校・班での話し合い

## 全助成期間の活動を振り返って

3年間で、『北陸版SDGs・ESD実践ガイドブック』及びその「改訂版」2冊を作成し、このガイドブックを活用して普及・啓発活動ができた。また、ステークホルダーの連携・協働を目指した「北陸SDGs・ESD推進協議会」を設立し、SDGs・ESD活動のためのプラットフォームができた。これからが本当の始まり、協働の事業開始である。



〒921-8105  
石川県金沢市平和町1-3-1 石川県平和町庁舎  
HP : <http://unescoi.exblog.jp/>



## 今後の展望

地域ESD活動推進拠点として、北陸ESD推進コンソーシアムと連携・協力をより緊密にして、本事業の発展・継承を図る。特に、北陸SDGs・ESD推進連絡協議会の企画・運営・事務を担っていく。また、新型コロナウイルス終息後にベトナム・カンボジアへのスタディツアーを再開し、ユネスコスクール等への出前授業も再開したい。この事業でステークホルダーとの連携を学び、今後一層協働してSDGs活動を促進したい。